

2021年10月23日(土)

関東学生アメリカンフットボール連盟広報誌

《TODAY'S GAME》

1部リーグTOP8 第2節

第1試合 13:30K. O.

中央大学-日本大学

第2試合 16:15K. O.

法政大学-立教大学

INTERCEPT

1部TOP8 Bブロック

	法政大	中央大	立教大	日本大	勝点	勝-負
法政大学	—			35○28	3	1-0
中央大学		—	35○15		3	1-0
立教大学		15●35	—		0	0-1
日本大学	28●35			—	0	0-1

【中央大学】『Win』

いかなるディフェンスが相手でも得点するオフェンスの突破力と、ピンチの場面でもtouchdownを許さないディフェンスの粘り強さ。

《主将からの一言》ここまで一緒にやってきた部員たちと全てぶつけます。

《注目選手》4年 DL #1 小山 嗣晶(中大附属)・・・Defense Lineとしてtopのスピード、瞬発力を誇り、パスラッシュでは相手のQBに多くのプレッシャーを与えることが期待できる。

【日本大学】『再興』

宿敵である法政大との試合では準備の差が顕著に現れる結果となってしまった。しかし、ここで立ち止まっている暇はない。たとえ倒されようとも、何でも燃え上がる。それこそが“PHOENIX”である。また中央大戦からは有観客になるため、見応えのあるプレーで日頃応援してくださっているファンの方々に魅了したい。

《主将からの一言》法政大戦での敗戦後、自分たちがフットボールをしている意味を再認識した。止まっている時間はない。今まで取り組んできたこと全て、俺らのフットボール人生を中央戦では見せつける。

《注目選手》4年 DB #31 小松 泰登(日大豊山高校)・・・去年、一昨年と連続でスタメン出場している副将。毎試合ビッグなプレーを魅せてくれる名プレイヤー。今回の試合も昨年の甲子園で見せた華麗なインターセプトを見せてくれるに違いない。

【法政大学】『躍動』

初戦のビッグゲームを制した勢いそのまま今節も“強い法政ORANGE”を魅せる。特にオフェンス/ディフェンスの精鋭が集まる「スペシャルチーム」が“躍動”する姿にご注目。チームのために献身的なロングブロックやハードタックルを行い、チームを勝利に導くモメンタムを引き寄せる。

《主将から一言》リーグ初戦の日本大戦を終え、プレー面ではもちろん、精神面での反省も多く出ました。反省をこの立教大戦で活かし、我々の目標である「日本一」になるまで成長し続ける所存です。チームとして締まった試合をすることが立教戦の課題になると考えており、自分たちのペースでゲームを運び、次節に繋げられる試合にします。

《注目選手》3年 WR #16 野中 翔太(法政二)・・・極限まで鍛えられたファンダメンタルと誰にも負けないボールへの執念がビッグプレーを生むだろう。

【立教大学】『番狂わせ』

オフェンス、ディフェンス共に前戦では足りない部分が明確に現れた。次の相手となる法政には何年も勝ちが取れていない。そのような状況の中で、チーム全員がただ修正、改善するのではなく、今まで以上の取り組み、意識改革をし、強敵である法政を倒し、『番狂わせ』を起こす。

《主将から一言》オフェンス、ディフェンス、キッキング全てのユニットで“攻めのフットボール”にご期待ください。ひとりひとりが目の前のワンプレーに全てを懸けて、全員で勝利を掴み取るべく取り組みます。

《注目選手》3年 DL #96 鈴木 泰地(日大高校)・・・テクニックとアグレッシブさでQBサック、ロスタックルをすることに期待。